

2024年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
[証券コード： 8769 東証スタンダード]

2023年11月20日



企業に未来基準の元気を!





AGENDA

01 会社概要

02 全社業績

03 事業別の状況

- (1)メンタリティマネジメント事業
- (2)健康経営事業
- (3)LTD事業
- (4)両立支援事業
- (5)リスクファイナンス事業

04 トピックス

01

会社概要



企業に
未来基準の
元気を!

企業に未来基準の元気を！



MISSION

私たちは、人々が「**安心して働ける環境**」と
企業の「**活力ある個と組織**」をみなさまと共に創り出します

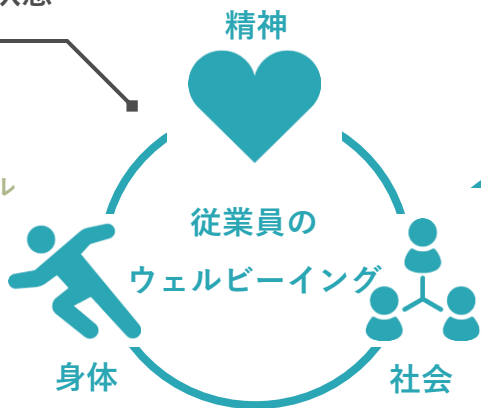
当社グループは、企業理念を「私たちは、人々が『安心して働ける環境』と企業の『活力ある個と組織』を皆様と共に創り出します。」と定め、コーポレートメッセージとして掲げる「企業に未来基準の元気を！」の下、企業と働く人々を取り巻く様々なリスクや課題に対処するための解決策の提供と企業の健康経営推進への取り組みを支援してまいります。

会社概要 | 当社の事業を通じて目指すこと

従業員のウェルビーイング実現（＝身体的、精神的、社会的に満たされた状態）を支援し、
企業価値の向上につなげます。

ウェルビーイングな状態

- ・ ポジティブな感情
- ・ 仕事/会社への高い満足度
- ・ 良好なメンタル/フィジカル
- ・ 安心して働ける環境



期待できる成果一例

個と組織に
成果をもたらす

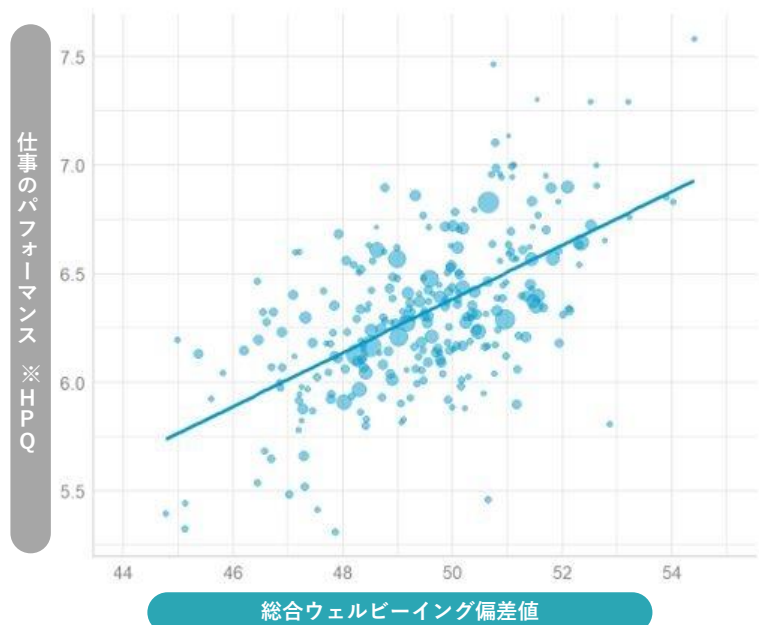
- ・ 健康度の向上
- ・ 良好な人間関係
- ・ 創造性の促進
- ・ エンゲージメント向上
- ・ 高い生産性/自発性の向上
- ・ 離職率の低下

企業価値の向上

【ご参考】「従業員のウェルビーイング」と「仕事のパフォーマンス」には相関あり

詳細は
当社HPを
チェック

当社顧客企業 272 社、28.8 万人のデータより、
ウェルビーイング偏差値が高い企業ほど、仕事のパフォーマンスが高い傾向が明らかに。（相関係数0.59）



ウェルビーイング偏差値の構成要素

精神



- ・ストレス反応(精神症状)
- ・ワークエンゲージメント
- ・満足度(仕事・家庭生活)

身体



- ・生活習慣
- ・ストレス反応(身体症状)

社会



- ・ソーシャル・キャピタル
- ・精神的安定
- ・エンployeeエンゲージメント

※指標によってはデータのない企業もあるため、その場合は利用できる指標のみで平均

※相関係数は、-1から1の間の値をとり、絶対値が1に近いほど相関が強く、逆に0に近くなると相関が弱いという解釈。0.1以上が「小」、0.3以上が「中」、0.5以上が「大」の相関関係があるといえる。

【実績】「健康経営銘柄」の約45%、「ホワイト500」認定法人の4社に1社が当社サービスを利用

大手企業を含む**2,950社**もの様々な企業に導入実績をもち、**健康経営銘柄**^{※1}の約45%、健康経営優良法人 **ホワイト500**^{※2}のおよそ**4社に1社**でも活用いただき、健康経営に貢献しています。さらに、この導入実績が、**417万人もの従業員データ**を保有。



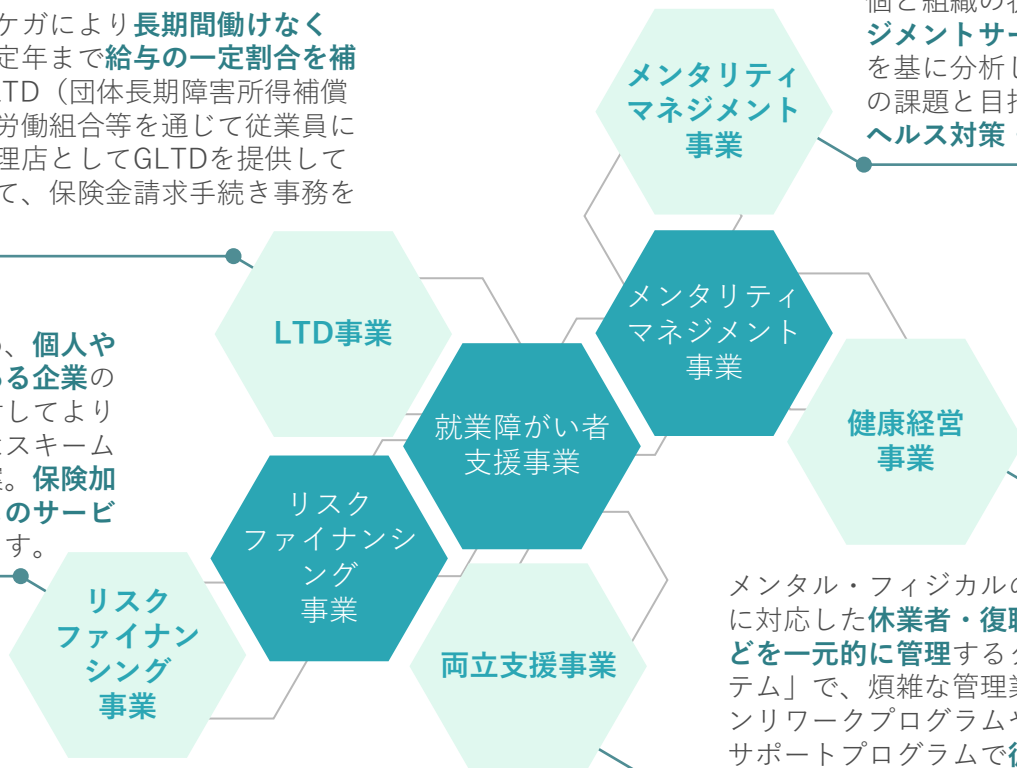
- ※ 2023年度ホワイト500認定法人のデータ、2022年4月～2023年3月の取引実績より算出
- ※1 東京証券取引所の上場会社の中でも、東証が定める財務指標と自己資本利益率・情報開示など経営状態の健全性要件をクリアした企業が候補となり、健康経営の観点から投資先としての魅力に優れた企業を選出される。
- ※2 上場有無にかかわらず、経済産業省が定める健康経営度調査へ回答した法人のうち、優良な健康経営を実践している上位500までの企業
- ※3 メンタリティマネジメント事業・健康経営事業の利用者数と休業者・復職者支援サービスの利用者数の合計。(2023年3月末)

事業概要 | 全体像

3本のメイン事業を中心に、メンタリティマネジメント事業、健康経営事業、LTD事業、両立支援事業、リスクファイナンス事業、5つの事業セグメントを展開

従業員が病気やケガにより長期間働けなくなった際に最長定年まで給与の一定割合を補償する保険、GLTD（団体長期障害所得補償保険）を企業や労働組合等を通じて従業員に提供。当社が代理店としてGLTDを提供している団体に対して、保険金請求手続き事務を行っています。

がん保険をはじめ、個人や個人が働く場である企業の抱えるリスクに対してより良い保障あるいはスキームの保険商品を提案。保険加入や保険の見直しのサービスを提供しています。



メンタリティマネジメント事業

個と組織の状態を把握するストレスチェックやエンゲージメントサーベイ、パルスサーベイから得られるデータを基に分析し、課題を「見える化」。企業が抱える現状の課題と目指すべき方向性に応じて、総合的なメンタルヘルス対策・エンゲージメント向上対策を提案します。

メンタリティマネジメント事業

メンタルヘルスに対応できる専門チームが、法定・法定外の産業保健業務をトータルサポートする「産業医・保健師サービス」や、健康診断の予約から結果管理、産業保健スタッフとの連携までの業務をシステム化した「健診管理システム」を提供しています。

両立支援事業

メンタル・フィジカルの傷病、育児・介護休業など全ての休業種類に対応した休業者・復職者の情報や、必要な諸手続きの進捗状況などを一元的に管理するクラウドサービス「休業者管理業務支援システム」で、煩雑な管理業務を大幅に効率化します。また、オンラインリワークプログラムやがん治療と仕事の両立における労使双方をサポートプログラムで従業員が治療等と仕事の両立ができるよう支援しています。

当社の強み

長年の調査研究に基づく豊富な知見とデータベースを活かし、DXプラットフォームと多彩なソリューションを提供。事業セグメントを超えたクロスセルで、ウェルビーイングにまつわるあらゆる人事課題を解決。



02

全社業績



企業に
未来基準の
元気を!

売上高は増収 YoY +8.5%

- 各事業ともに堅調に推移
- ストック収益が順調に増加

営業利益は増益 YoY +400.7%

- 利益面が大幅に改善

連結範囲変更 新規子会社 2社

- 第1四半期よりここむ株式会社、第2四半期より Resily株式会社を連結の範囲に含んでおります。

(百万円)	FY2022 Q2	FY2023 Q2	YoY
売上高	2,894	3,142	+ 8.5%
EBITDA	265	378	+ 42.7%
営業利益	13	65	+ 400.7%
(利益率)	0.5%	2.1%	+ 1.6pt
経常利益	7	74	+ 947.9%
(利益率)	0.2%	2.4%	+ 2.1pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 16	46	—
(利益率)	△ 0.6%	1.5%	+ 2.0pt

※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

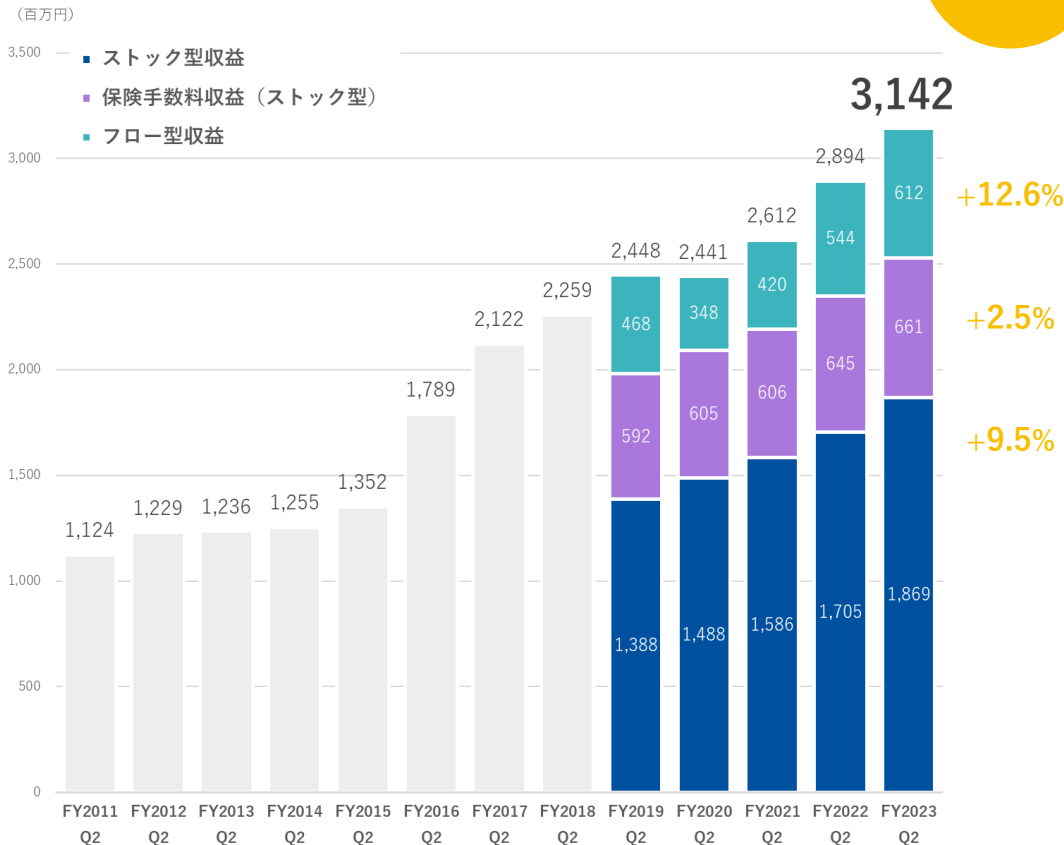
YoY
+8.5%

ストック収益は順調に 増加を継続

- 「アドバンテッジ タフネス(以降、タフネス)」シリーズ、「健診管理システム」、「ADVANTAGE HARMONY」などストック型サービスの新規顧客の獲得が好調に推移し、順調に増加を継続

フロー収益も伸長

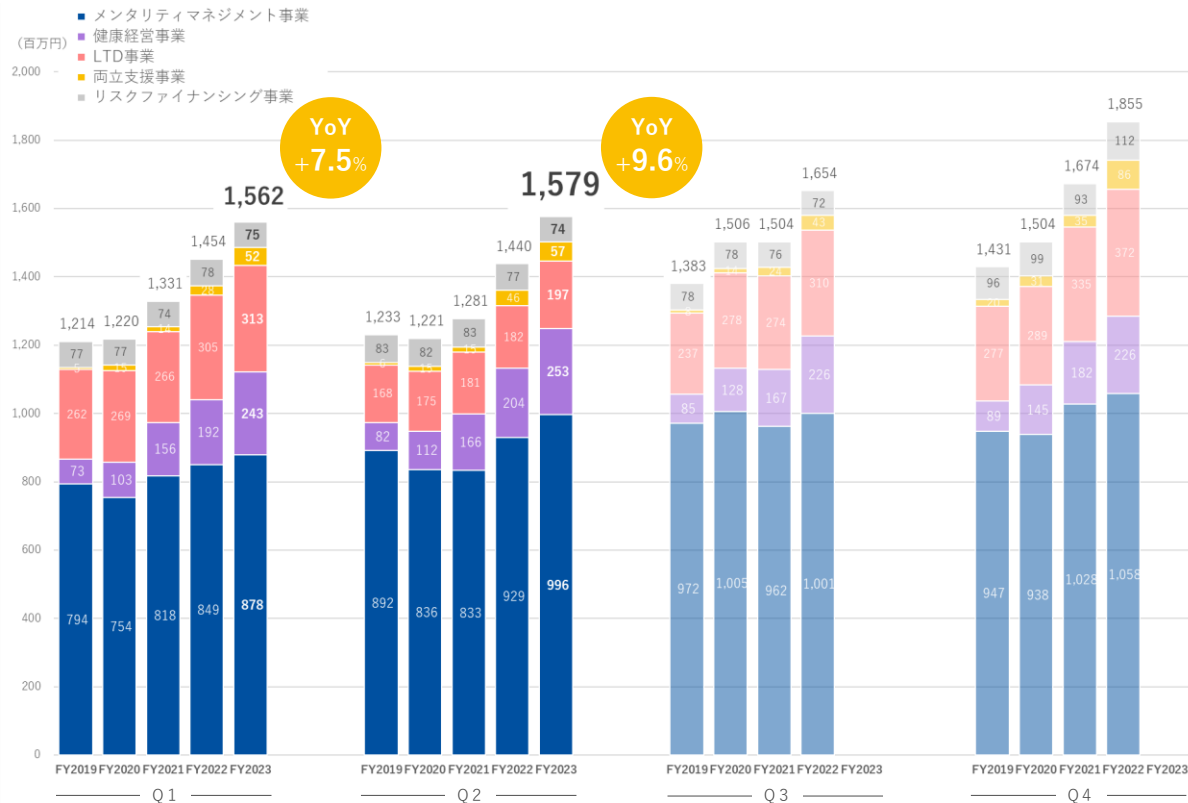
- メンタリティマネジメント事業のソリューション売上が軟調だったものの、各商材のオプション販売や初期導入売上などによりフロー収益も伸長



※ 保険手数料収益(ストック型)はLTD事業およびリスクファイナンス事業の収益

主要事業は各事業ともに 増収を継続

- メンタリティマネジメント事業はタフネスシリーズの売上が好調に推移し堅調
- 健康経営事業と両立支援事業は高成長を継続

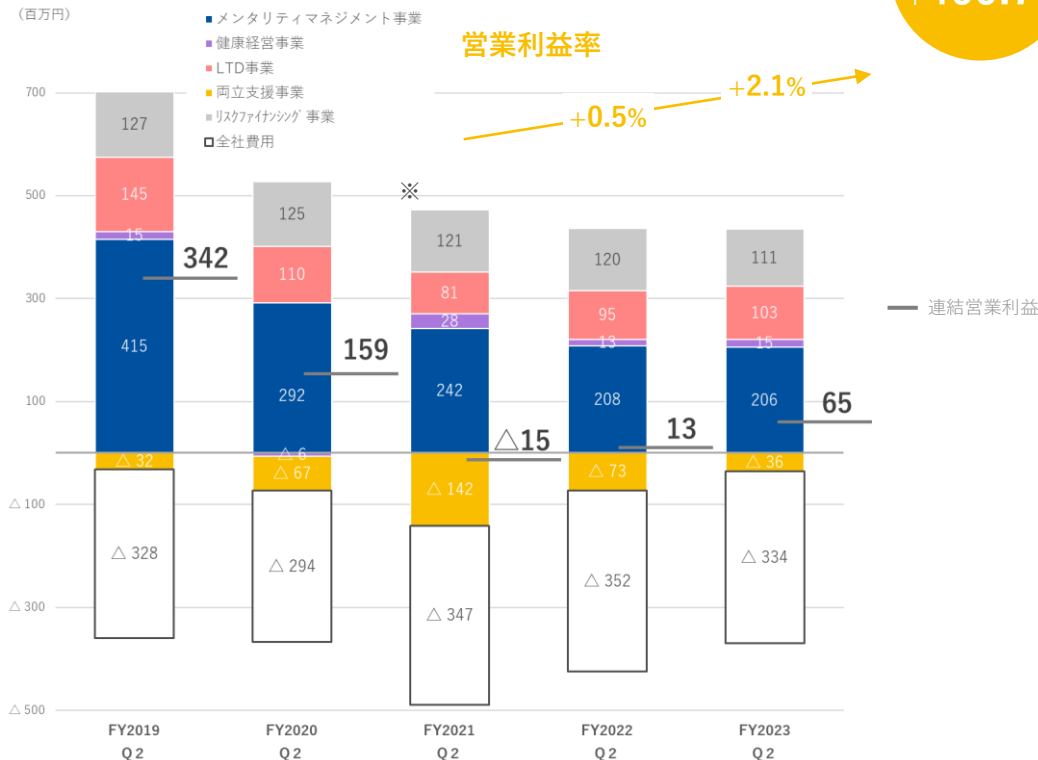


注1: 「メンタリティマネジメント事業」および「健康経営事業」は決算報告セグメントにおける『メンタリティマネジメント事業』、「LTD事業」および「両立支援事業」は決算報告セグメントにおける『就業障がい者支援事業』に区分。

YoY
+400.7%

利益面が改善し、増益

- コストの増加は抑えられている
- 両立支援事業の赤字が縮小



ソフトウェア償却費は増加も コスト増は抑えられている

人件費

- ・ 報酬制度改定による従業員の賃金アップ。
- ・ 子会社の増加による影響 37百万円。

ソフトウェア償却費

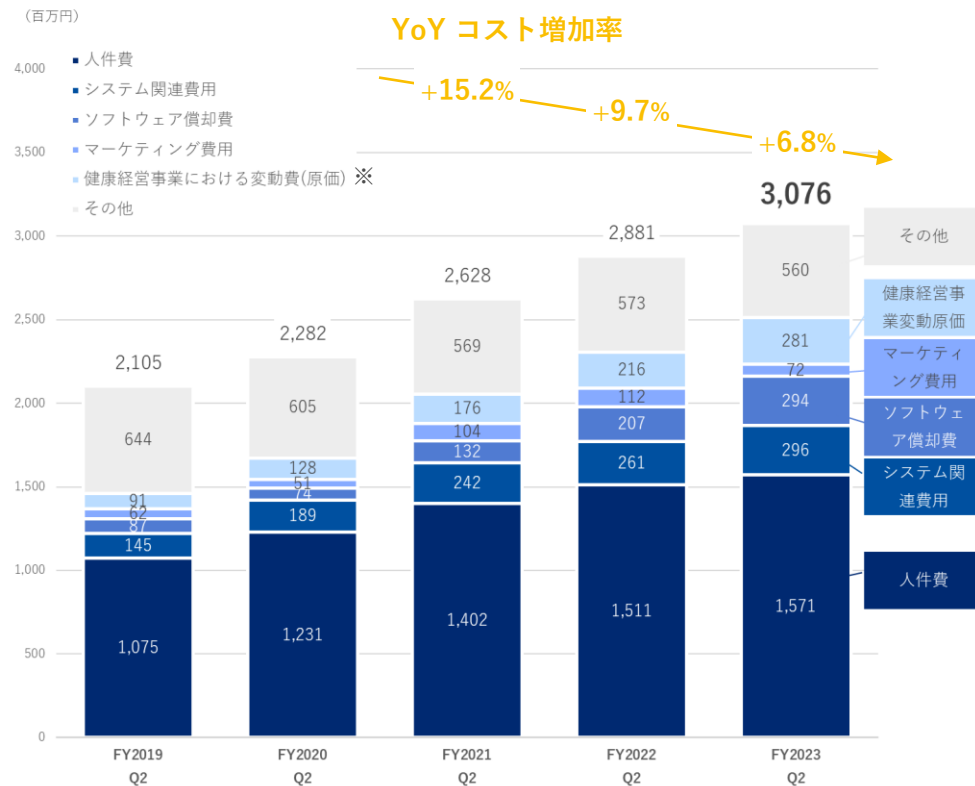
- ・ 足元では投資は落ち着いてきているものの、償却費は前年同期比で増加。

マーケティング費用

- ・ 投資対効果を重視。
- ・ リード獲得や案件創出は順調。

健康経営事業における変動費(原価)

- ・ 健康経営事業の成長により増加

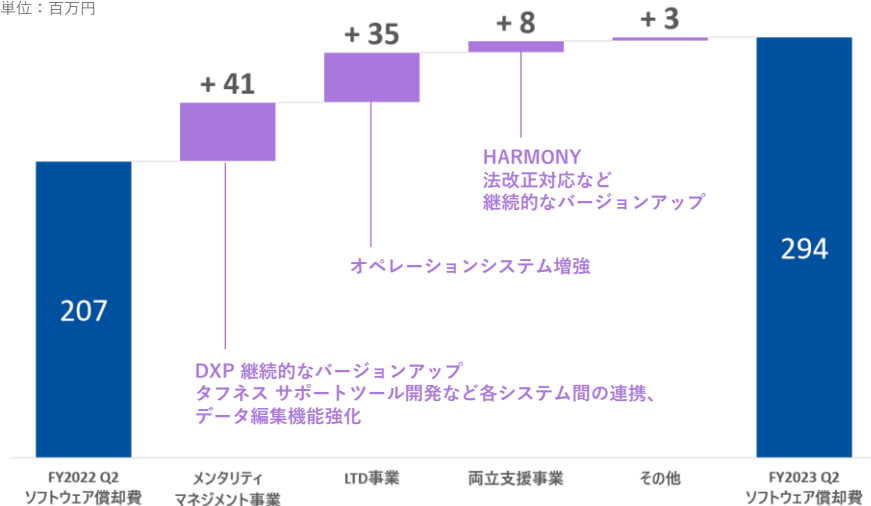


全社業績 | コスト-ソフトウェア償却費およびシステム関連費用 増減要因 (前年同期比)

ソフトウェア償却費

- システム投資は足元、落ち着いてきているものの償却費は増加

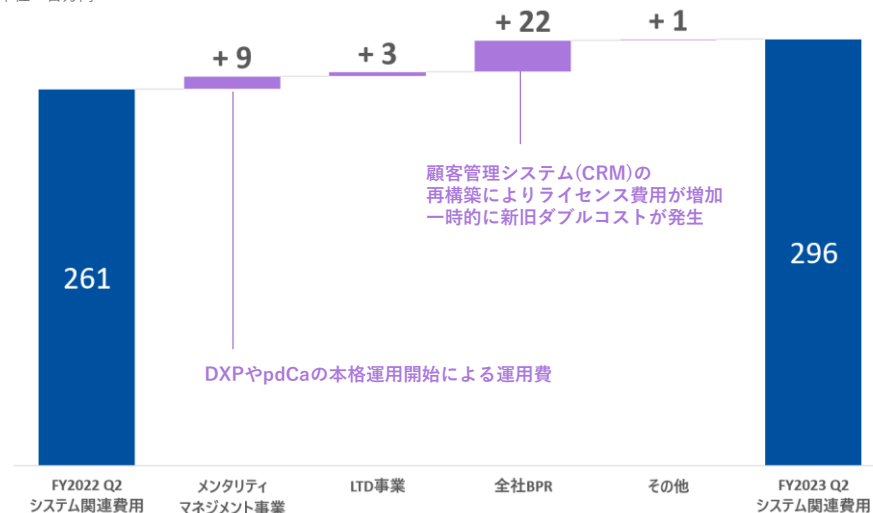
単位：百万円



システム関連費用

- アドバンテッジ ウェルビーイング DXPの運用費や社内BPR推進関連のシステム費用が増加

単位：百万円



連結貸借対照表

子会社株式の取得による「のれん」など「無形固定資産」の増加により、総資産が前期末比 795百万円増加で6,756百万円。取得した連結子会社の長期借入金により有利子負債増加。

(百万円)	FY2022	FY2023 Q 2
流動資産	2,636	3,083
現金及び預金	1,266	1,776
売掛金	995	865
その他	373	441
固定資産	3,324	3,673
無形固定資産	2,271	2,620
投資有価証券	560	557
その他	492	495
総資産	5,960	6,756
負債	2,321	3,235
うち、有利子負債	173	346
純資産	3,639	3,521
株主資本	3,588	3,469
新株予約権	51	51
自己資本比率	60.2%	51.4%

連結キャッシュフロー計算書

営業キャッシュフローが大幅に増加しフリーキャッシュフローは前期比 308百万円増加の 683百万円。システム投資「無形固定資産の取得による支出」は減少。

(百万円)	FY2022 Q 2	FY2023 Q 2
営業CF	910	1,262
税金等調整前利益	3	76
減価償却費	224	308
その他	682	877
投資CF	△ 535	△ 579
無形固定資産の取得	△ 536	△ 507
子会社株式取得による支出	-	△ 96
その他	0	24
財務CF	△ 169	△ 177
期末現金及び現金同等物残高	922	1,766
フリーCF	374	683






03

事業別の状況

- (1)メンタリティマネジメント事業
- (2)健康経営事業
- (3)LTD事業
- (4)両立支援事業
- (5)リスクファイナンス事業



事業別の状況サマリー

事業	2023年 第2 四半期の状況	
- 全社 - 今後の成長に向けた取り組み		<ul style="list-style-type: none">• 企業の人的資本経営推進あるいは健康経営対応ニーズはますます高まっている。• 人事経営課題解決型プラットフォーム「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を軸とした総合提案によるアカウント営業を推進。効率的な営業活動を展開し新規顧客獲得が好調。• 物価上昇に伴う経費増や賃上げに伴う商品への価格転嫁を進める。契約更改のタイムラグがあるため大きな効果は来期以降。
メンタリティマネジメント事業		<ul style="list-style-type: none">• 「アドバンテッジ タフネス」は新規契約の獲得が好調に推移。• 新規連結子会社ここむ株式会社およびResily株式会社の経営成績は当セグメントに含む。<ul style="list-style-type: none">- 相互送客・クロスセルなど顧客基盤を強化。- エンゲージメント領域のソリューションを強化。• 採用適性検査『インサイト』・EQ(感情マネジメント力)向上研修関連の売上が軟調
健康経営事業		<ul style="list-style-type: none">• 企業の健康経営推進ニーズ、健診データのデジタル化トレンドなど市場の追い風を背景に、「健診管理システム」の新規契約導入が好調に推移。
LTD事業		<ul style="list-style-type: none">• 市場は引き続き成長。売上高は堅調に推移。• 競争力の強化や業務効率化を目的にシステムを強化し費用増加も増益。
両立支援事業		<ul style="list-style-type: none">• 育児・介護休業法改正施行後の対応ニーズによる追い風もあり「ADVANTAGE HARMONY」のパイプラインは引き続き堅調に増加。• 復職支援プログラム「eRework」のニーズも高い。育児と仕事との両立支援サービス「Career & Baby(キャリア&ベビー)」の提供開始。

売上高は前年同期比+5.4%

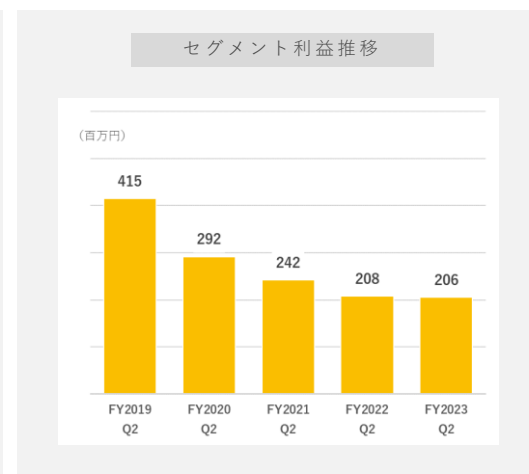
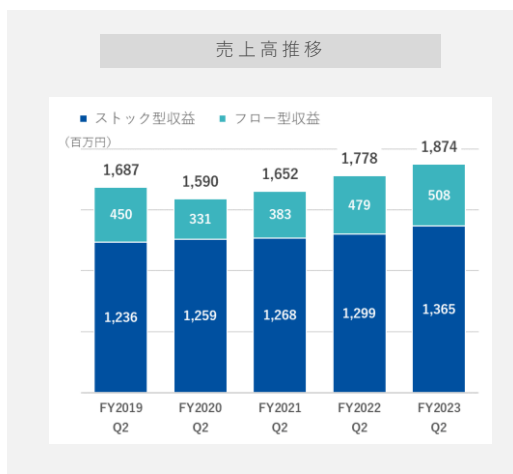
新規契約が好調に推移し、
ストック収益は着実に増加

- 新たに連結子会社となったここむ株式会社の売上も業績に寄与。
- 採用・EQ関連サービスの売上が軟調もオプション販売などが堅調に推移しフロー収益も増加。
- 「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」の継続的なアップデートなどに伴うソフトウェア償却費など費用が増加。

単位(百万円)	FY2022 Q2	FY2023 Q2	YoY
売上高	1,778	1,874	+ 5.4%
費用	1,569	1,667	+ 6.2%
セグメント利益	208	206	△ 1.2%
営業利益	△ 8	7	—

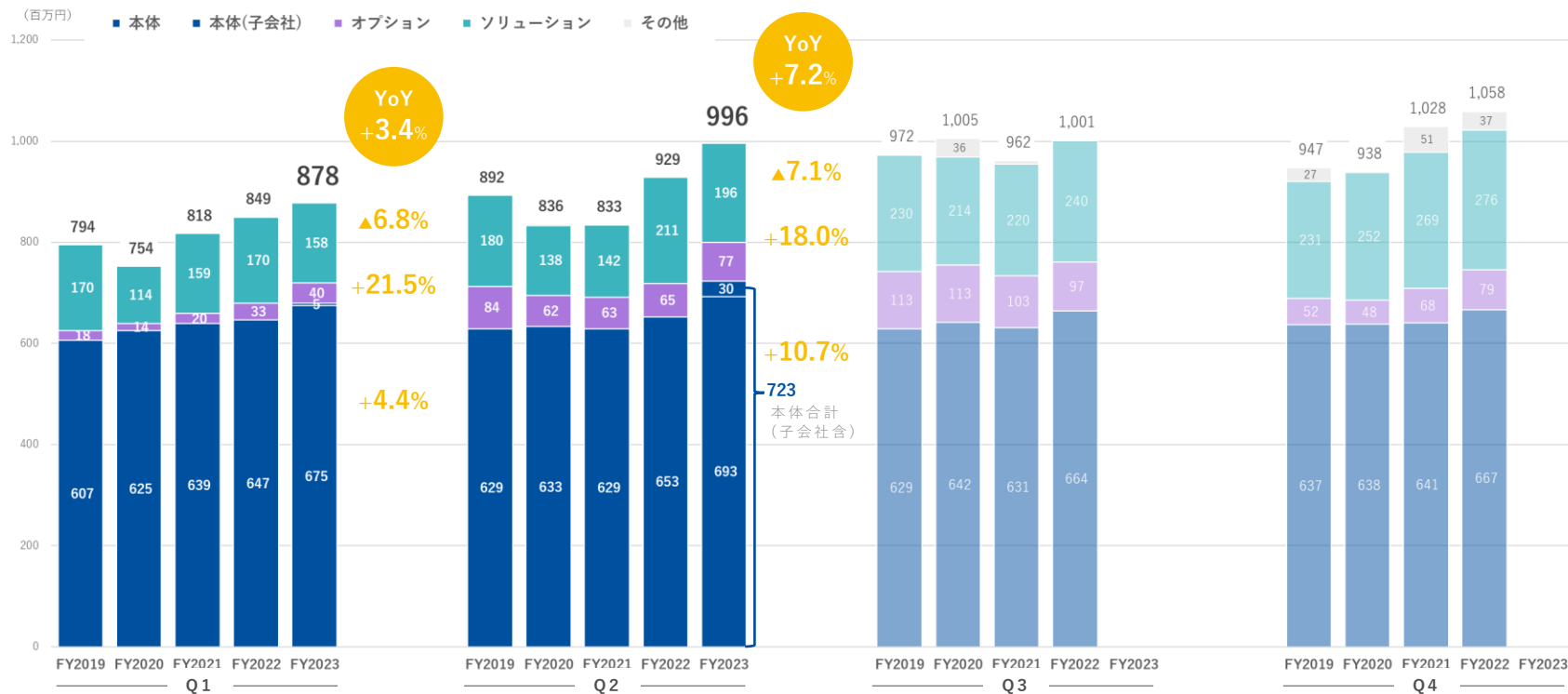
注：営業利益は、財務会計上の報告セグメントの利益から、更に全社費用（※）を各事業の売上比率、人員数等一定の基準で配賦した後の利益となります。

（※）「全社費用」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費。



メンタリティマネジメント事業 商品別売上高推移

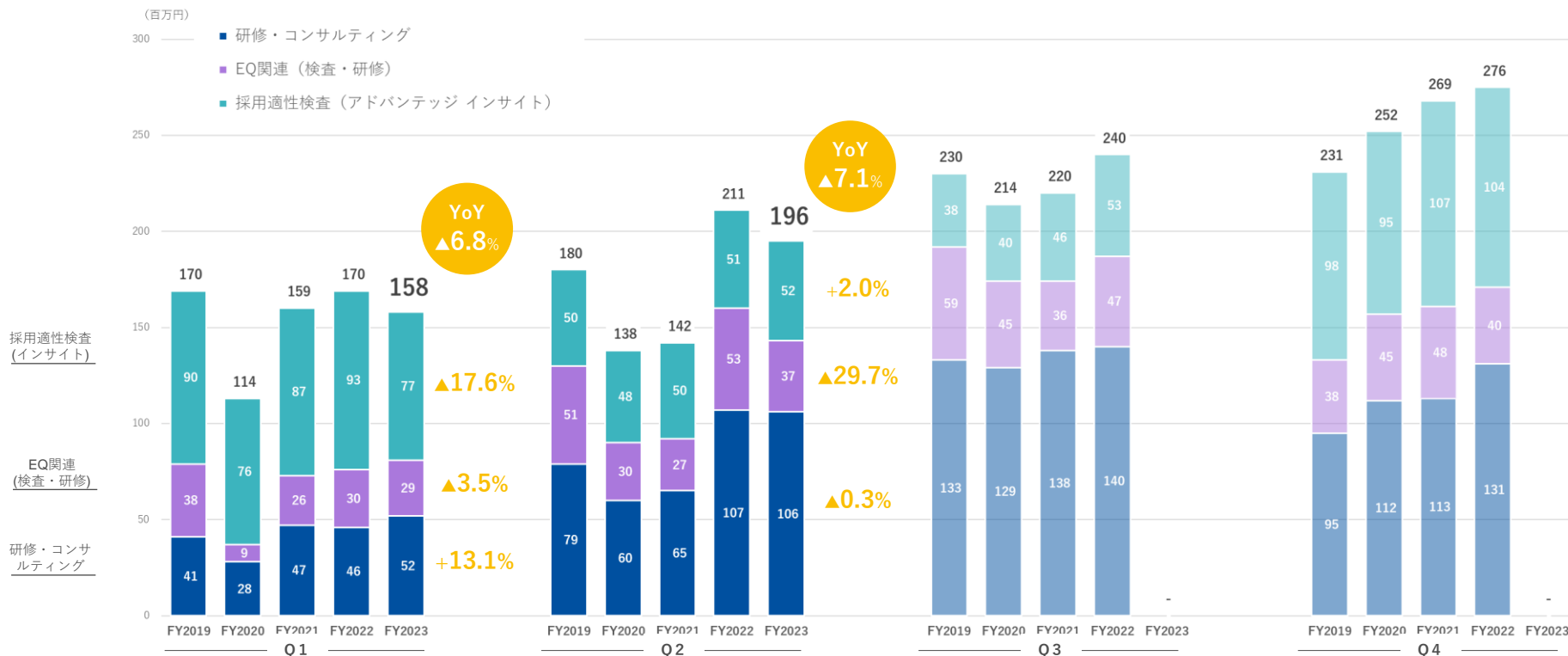
- 「アドバンテッジ タフネス」は新規契約の獲得が好調に推移し、ここむ社の売上貢献もあり伸長。



※ 本体：ストレスチェック本体（タフネスシリーズ・ここむ）およびウェルビーイング DXP/pdCa/Resilyなどのシステム利用料

メンタリティマネジメント事業 ソリューション売上高推移

- ソリューション売上は軟調も採用適性検査「アドバンテッジ インサイト」はQ2で回復基調。「EQ関連」は前期受注の大型契約が無くなったことが影響。下期での挽回に注力。



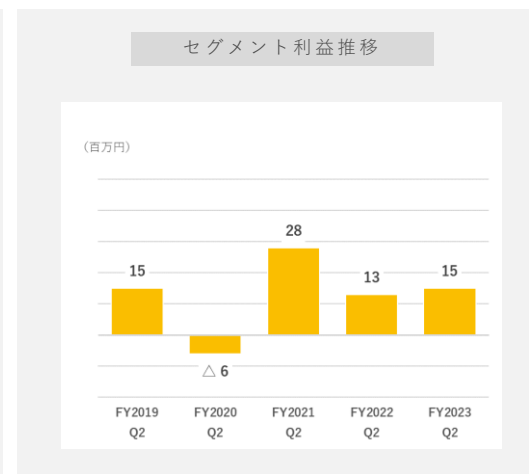
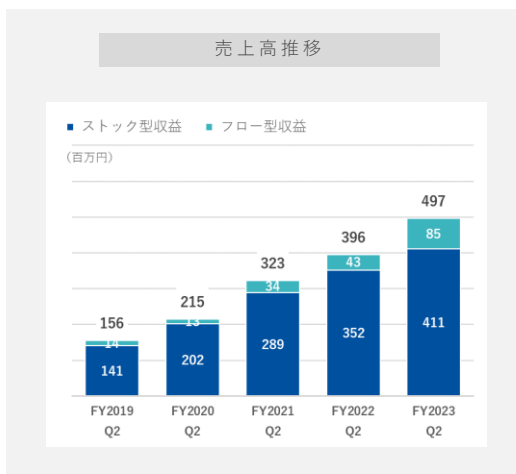
売上高は前年同期比+25.3%

企業の健康経営推進ニーズ、
健診データのデジタル化トレンドで
引き続き高い成長率

- 「産業医・保健師サービス」は堅調に推移。健診データのデジタル化推進ニーズで「健診管理システム」は新規顧客の導入が好調に推移。
- 事業拡大に伴う人件費など固定費が増加も増益。変動費が高く利益率の低いビジネスモデルではあるものの収益拡大によりセグメント利益は増益。

単位(百万円)	FY2022 Q2	FY2023 Q2	YoY
売上高	396	497	+ 25.3%
費用	383	481	+ 25.8%
セグメント利益	13	15	+ 12.4%
営業利益	△ 26	△ 30	—

注：営業利益は、財務会計上の報告セグメントの利益から、更に全社費用（※）を各事業の売上比率、人員数等一定の基準で配賦した後の利益となります。
（※）「全社費用」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費。

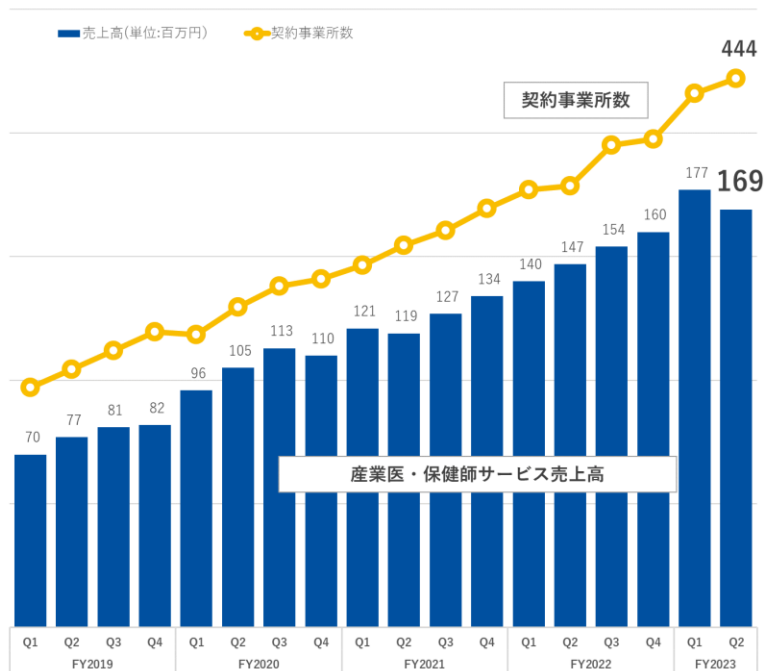


健康経営事業 商品別売上高推移

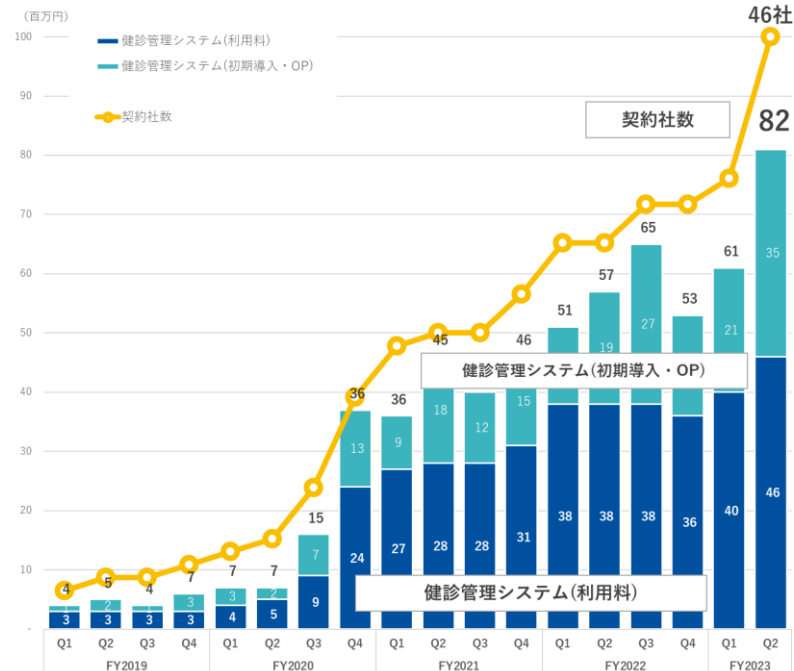
- 「産業医・保健師サービス」は引き続き堅調に推移。Q1は人材紹介の一時的な売上が押し上げ。
- 「健診管理システム」は新規導入が好調に推移。

注：健康経営事業には下記の他、特定保険指導やオンライン健康セミナー、アドバンテッジスリーブの売上高が含まれております。

産業医・保健師サービス



健診管理システム



売上高は前期比+4.6%

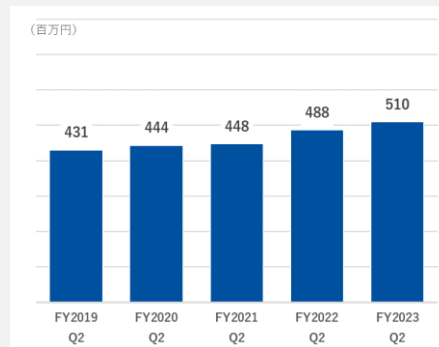
- 売上高は引き続き堅調。
- 競争力の強化や業務効率化など保険契約管理システムを刷新したことに伴い償却費増加など費用が増加。セグメント利益は増益。

単位(百万円)	FY2022 Q2	FY2023 Q2	YoY
売上高	488	510	+ 4.6%
費用	392	407	+ 3.8%
セグメント利益	95	103	+ 7.9%
営業利益	29	39	+ 35.8%

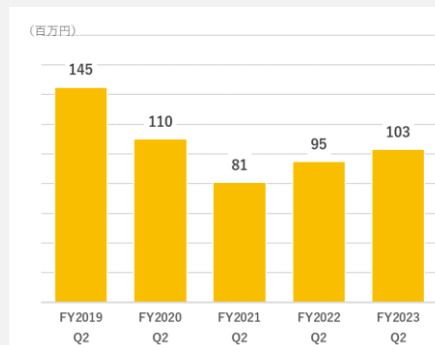
注：営業利益は、財務会計上の報告セグメントの利益から、更に全社費用（※）を各事業の売上比率、人員数等一定の基準で配賦した後の利益となります。

（※）「全社費用」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費。

売上高推移

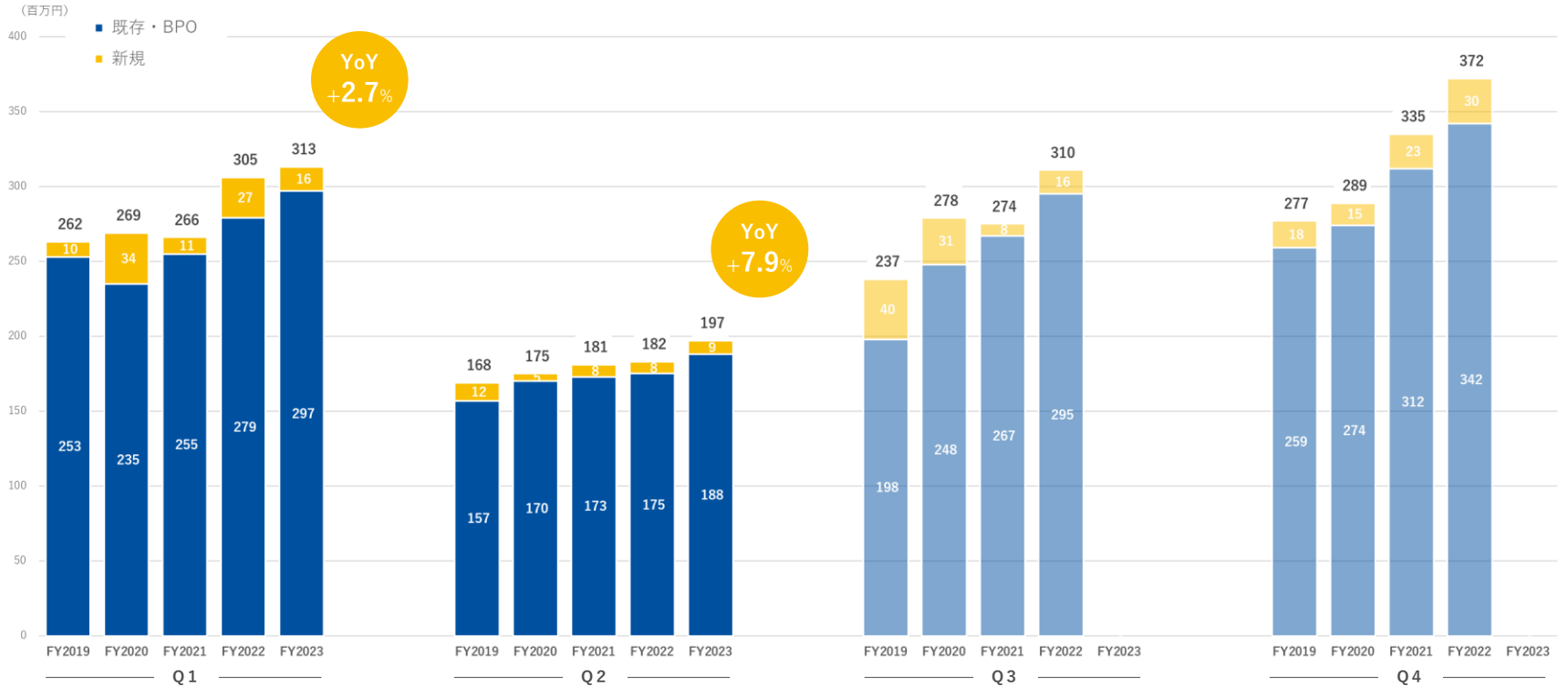


セグメント利益推移



LTD事業 売上高四半期推移

■ 新規契約は堅調に推移しQ2も伸長。



売上高は前年同期比+47.9%

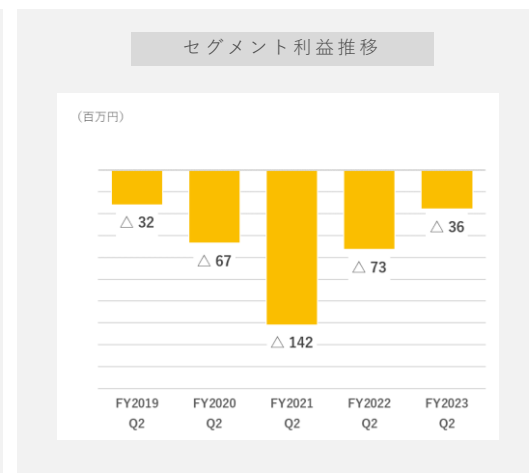
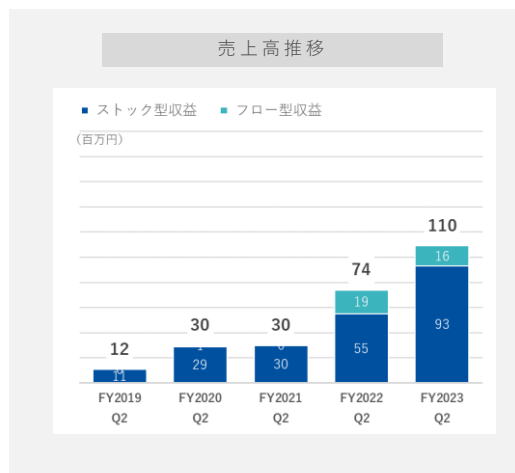
新規契約が順調に増加、赤字幅も縮小

- 導入時期の後ろ倒しはあるものの、新規契約の獲得は順調。ストック収益も着実に伸長。
- 一定レベルのシステム改修など投資は継続するも効率的なオペレーション業務体制の維持などコスト増は抑制。利益面も改善し赤字幅縮小。

単位(百万円)	FY2022 Q2	FY2023 Q2	YoY
売上高	74	110	+ 47.9%
費用	148	146	△ 1.3%
セグメント利益	△ 73	△ 36	—
営業利益	△ 87	△ 50	—

注：営業利益は、財務会計上の報告セグメントの利益から、更に全社費用（※）を各事業の売上比率、人員数等一定の基準で配賦した後の利益となります。

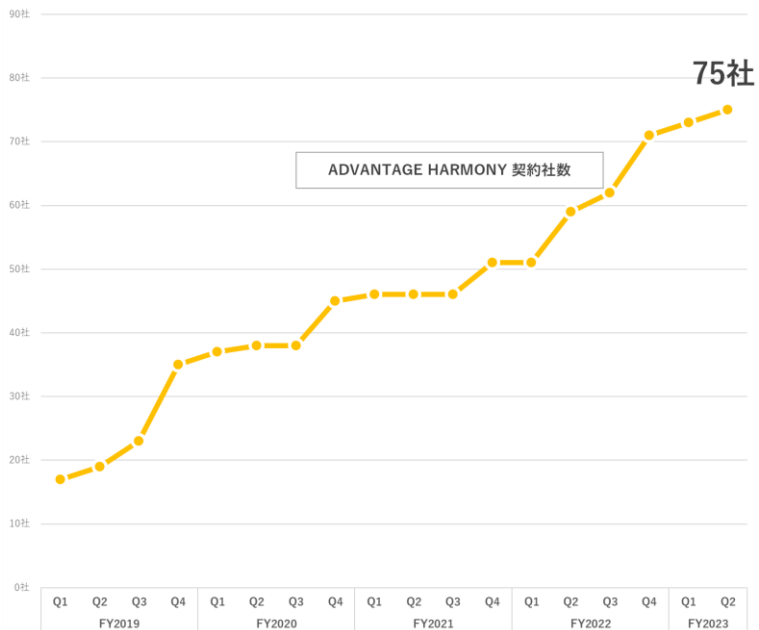
（※）「全社費用」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費。



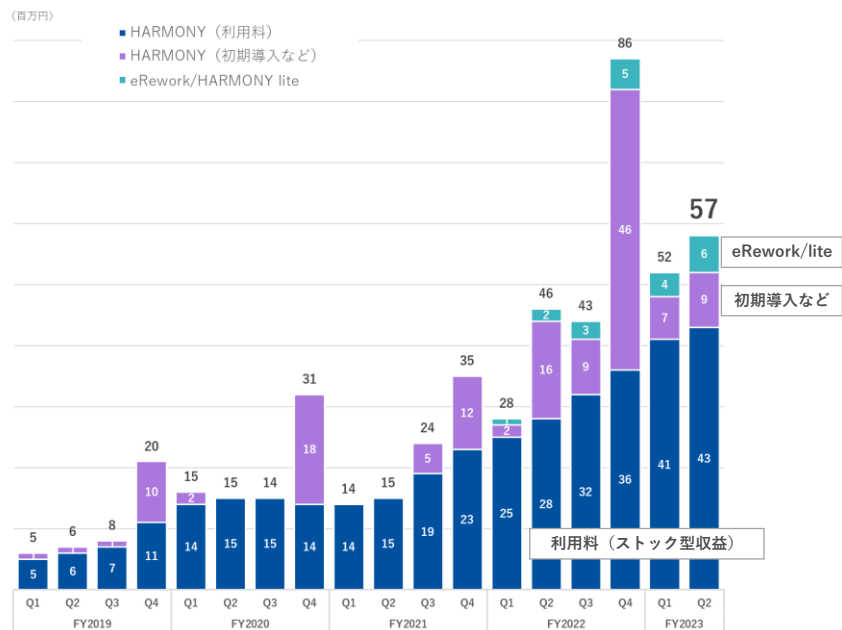
両立支援事業 「ADVANTAGE HARMONY」の導入状況、売上高推移

■ 新規契約は順調に増加。利用料（ストック型収益）も伸長。

契約社数推移



売上高推移



注1：契約社数は『ADVANTAGE HARMONY』での契約のみ、『eRework』（注2）単体導入企業および『HARMONY lite』（注3）での契約社数は含んでおりません。

注2：『eRework』は、オンラインで気軽に受けられる復職支援プログラム。

注3：『HARMONY lite』は、『ADVANTAGE HARMONY』の機能を一部に限定したエントリーモデルとなります。

売上高は前年同期比△4.3%

概ね計画どおり

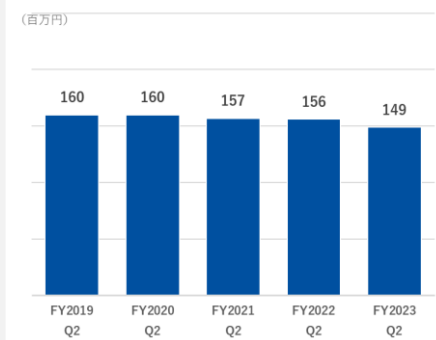
- 保険募集がやや低迷で減収も概ね計画通り。
- 費用面については、効率的なオペレーション業務体制維持によりコスト抑制に努めるも減益。

単位(百万円)	FY2022 Q2	FY2023 Q2	YoY
売上高	156	149	△ 4.3%
費用	36	38	+ 7.0%
セグメント利益	120	111	△ 7.6%
営業利益	106	98	△ 7.6%

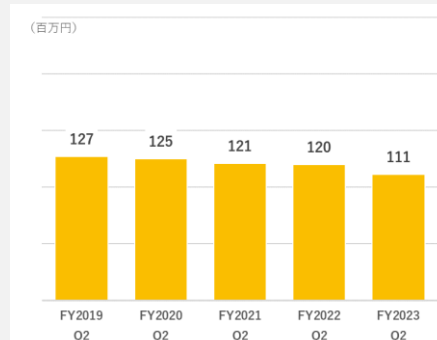
注：営業利益は、財務会計上の報告セグメントの利益から、更に全社費用（※）を各事業の売上比率、人員数等一定の基準で配賦した後の利益となります。

（※）「全社費用」は主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費。

売上高推移



セグメント利益推移



04

トピックス



企業に
未来基準の
元気を!

1. 大手企業への当社サービス導入に関する進捗
2. 当社サービスの拡充に関する進捗
3. 業務提携に関する進捗

大手企業への当社サービス導入に関する進捗 - 第1四半期 (再掲)

「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」等、大手企業に対する当社主力サービスの導入が進捗中。



2023年4月14日
株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード6769)

北海道電力グループ約 6,000 名にアドバンテッジ タフネスを導入 ～ストレスチェックとプレゼンティーズム・エンゲージメント調査の一本化を実現～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、北海道電力グループに所属する従業員約 6,000 名に、当社の「アドバンテッジ タフネス エンゲージメントプラス」を提供することをお知らせいたします。

北海道電力グループは、「安全と健康に関する取り組みは、職場の一体感向上や一人ひとりの「働きがい」、更には生産性向上にも資する」として、各種健康施策を積極的に関与しています。その取り組みが評価された結果、北海道電力株式会社と北海道電力ネットワーク株式会社は、4 年連続となる「健康経営優良法人 2023 (ホワイト 500)」に認定されています。

このたび、健康経営のさらなる推進と、従業員のエンゲージメントを可視化し向上させたいという北海道電力グループのニーズのもと、「アドバンテッジ タフネス エンゲージメントプラス」を導入いただきました。健康経営の観点ではプレゼンティーズムや生活習慣指標の可視化と定点観測、エンゲージメントの観点ではストレスとエンゲージメントの二軸で分析ができるようになるなど、ストレス状態に留まらず様々な情報を一括で把握できる点が評価されました。サービスにある学習コンテンツは、セルフケアや職場改善、エンゲージメント向上施策の一助を担うものとして期待されています。

当社はサービスの提供に留まらず、健康診断等のフィジカル情報や勤怠情報をさらに人事施策に活用しやすくなるプラットフォームや、解雇施策としての各種リソースにも含め総合的な支援を行い、同社の取り組みの成果を最大化できるような努めを怠りません。



■北海道電力株式会社 ご担当者より
(人事労務部 部長/見澤 克広 様)

当社はアドバンテッジリスクマネジメント社様の「ココロの健康診断」を従業員のセルフケア、組織の環境改善活動などに活用していますが、ストレス面だけでなく、やりがいや向上や組織活性化に具体的なつながりていくことが課題でした。

今回、同社のタフネス導入によりエンゲージメントとの相関などの確認ができるようになり、組織活性化に向けた施策検討などの一助になることを期待しています。

(人事労務部 安全健康グループ/伊藤 奈津子 様)

本サービスの一つでもある各種トレーニングは、従業員の意識改革やヘルスリテラシー向上につながる魅力的なメニューと感じています。施策実施から効果検証を行える有益なサービスとして積極的に活用させていただきます。



2023年4月18日
株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード6769)

ダスキンがクラウド型復職/両立支援システム「eRework」を導入 ～オンラインによる遠隔対応で休職者の復帰をサポート～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、株式会社ダスキンにクラウド型復職/両立支援システム「eRework(イーワーク)」を提供したことをお知らせします。

同サービスはかねてより「ADVANTAGE HARMONY」のオプションとして提供していましたが、高まるニーズを受けて単体での提供をスタートしております。このたび同社の課題とご要望にマッチし、「eRework」を導入いただくことがとなりました。

復職支援プログラムや職場復帰支援プログラムといわれる「リワーク」は、return to work の略で、休職している労働者に対し、職場復帰に向けたリハビリテーションを実施する機関で行われているプログラムです。コロナ禍において施設の閉鎖や利用制限など、これまでと同様の環境でリワークを実施できない状況が続いたことからオンライン需要が急激に増加したため、当社はクラウド型復職/両立支援システム「eRework」単体での提供を開始いたしました。

株式会社ダスキンにおいては、「eRework」が場所に関わらず公平に利用できるオンラインツールであることに加え、管理職や人事部門をつなぐコミュニケーションの機能を評価し、たいとしています。復職にあたっては、本人が復職訓練をこなせば良いものではなく、復職タイミング判断や受け入れ態勢の整備も重要なポイントとなります。「eRework」は、休職者向けのリワーキングプログラムのコンテンツに留まらず、休職者の上長にあたる管理職に向けた教育コンテンツも含まれており、本人の人事部門の後方支援として、あらゆる関係者において役立つことが期待されています。

当社は同社への「eRework」提供を通じ、休職者のケア、復職におけるサポートなど引き続き同社の課題対応に奔走しております。

■ご参考

・ADVANTAGE HARMONY <https://smg.smkta.jp/cc/0y12zdf4s>

休職者・復職者の情報や、必要な経手続の進捗状況などを一元的に管理するクラウドシステム、メンタルフィジカルの基盤、育児・介護休業など全ての休業種類に対応し、煩雑な管理業務を大幅に効率化します。

「eRework」は、オンラインで受けられる 3 週間のリワーキングプログラムで、実施機関の立地的制約を受けることなく、職場復帰に向けた準備を進めることが可能。「認知行動療法」をベースとした e ラーニングと再発防止のためのワークや GPS を活用した移動補助に加え、当社カウンセラーによる面談等で多角的に現在の状態をスコア化します。

サービスへのお問い合わせはこちら <https://smg.smkta.jp/cc/0y12zdf4s>



2023年6月20日
株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード6769)

ダイハツ工業が当社ストレスチェックサービスと 「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を導入 ～1.3 万人のデータ分析を効率化、同社の健康経営を後押し～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、ダイハツ工業株式会社に当社の「アドバンテッジ タフネス」、「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を提供することをお知らせいたします。「アドバンテッジ タフネス」を利用した同社のストレスチェックは 2023 年 7 月頃を予定しております。

ダイハツ工業株式会社は、「Light up」のスローガンの下、経営トップと労働組合とが共通認識を持ち健康経営への取り組みを推進しています。経営課題として「お客様の豊かな暮らしのために、心身の健康づくりによって社員一人ひとりが生き生きと働き、社会に貢献すること」を掲げさまざまな施策を行い、2023 年には「健康経営優良法人(ホワイト 500 2023)」にも選定されています。

このたび貴社は、同社のストレスチェック実施対象従業員約 13,000 人にストレスチェックサービス「アドバンテッジ タフネス」を提供いたします。また、各種人事労務データを集約できるデータマネジメントプラットフォーム「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」も提供いたします。両プログラムは、各種分析・結果を総合的に把握できるだけでなく、課題提示、効果検証まで網羅した点が強みです。サービス結果の分析にとどまらず、健康診断結果や勤怠情報と掛け合わせて健康経営推進にも資するプラットフォームです。拠点単位から全社単位への施策実行へと発展させたい。同社にとって、全社の生産量や平均値を容易に比較できる、課題を見出しやすい当社のレポート形態、サポート体制がニーズに合致するものとなりました。

また、心身の健康情報をはじめとした従業員の機微情報を扱ううえで重要なセキュリティ面でも評価をいただいています。

当社は「アドバンテッジ タフネス」のサービスを起点に、「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を活用した同社の PDCA サイクルに伴走し、取り組みの成果を最大化できるよう支援しております。



■導入サービス

・アドバンテッジ タフネス <https://smg.smkta.jp/cc/0y12zdf4s>



ストレスチェックやエンゲージメントサービスを起点に組織改善までを担うフルサービスです。リスクに陥らぬストレス状態に加え、生産性向上に直結するエンゲージメント、ストレスへの対処スキル(メンタルタフネス)という強み指標で働く組織の課題を特定します。

課題に合った解決策として、e ラーニングやカウンセリングなど基本サービスだけでなく、当社が開発するソリューションから最適な施策を提案します。

ダイハツ工業株式会社においては、厚生労働省が提示する「職業性ストレス横断調査(80 問版)」を使用する「ベシックチェック」プランを採用いただきました。

「アフラック生命保険」「住友生命保険」など、大手企業への導入が引き続き進捗中。

企業に未来基準の元気を!



2023年8月17日
株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード 8769)

アフラック生命保険に「ADVANTAGE HARMONY」を提供 ～休業者のスケジュール・情報を一元管理し、業務効率化へ～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、アフラック生命保険株式会社に休業者管理支援クラウドシステム「ADVANTAGE HARMONY」を提供することをお知らせします。

「ADVANTAGE HARMONY」は、休業者・復職者の情報や、必要な諸手続きの進捗状況などを一元的に管理するクラウドシステムで、メンタル・フィジカルの傷病、育児・介護休業など全ての休業種類に対応し、煩雑な管理業務を大幅に効率化するものです。


このたび、アフラック生命保険株式会社が同サービスを導入いたします。導入にあたり、本社より以下の機能面についての評価をいただきました。

■アフラック生命保険株式会社における機能面での評価ポイント



- スケジュール管理の自動化により、タスクの抜け漏れを防止
社員が私傷病で休職する場合に必要な諸手続きなどのスケジュール管理を自動化することで、人事労務担当者および休業者本人のタスクの抜け漏れを防止します。
- 休業者データの一元管理による効率化
複数のツールで管理していた休業者データを一元管理することができ、休業者管理業務を効率化します。
- スマートフォンから休業に関する申請が可能
同社では休業中は治療に専念するため、社用端末を返却することになっています。私用端末(スマートフォン)から休業に関する申請が可能となることで、休業者が申請しやすい環境を構築します。
- 休業者と「ハイブージ」(PCスマートフォン対応)上でのやり取りが可能。チャットの活用、既読確認機能により、上司・人事労務担当者・休業者間のスムーズなコミュニケーションを図ることができます。

同社には、「人財を大切にすることをア・ビュー(人財を大切にすれば、人財が効果的に業務を成し遂げる)」という1955年の米国での創業以来ずっと受け継がれてきた考え方があります。

当社は同社への「ADVANTAGE HARMONY」提供を通じ、人事労務担当者の業務支援にとどまらず、この「人財を大切にすることをア・ビュー」のもと、休業者が安心して休業・復職できる環境づくり、治療と仕事の両立支援に努めてまいります。

「生きる」を創る。


企業に未来基準の元気を!



2023年9月4日
株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード 8769)

住友生命保険が当社ストレスチェックサービス 「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を導入 ～従業員約43,000名の健康経営をサポート～


株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、住友生命保険相互会社(以下、住友生命保険)にストレスチェックサービス「アドバンテッジ タフネス」と「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を提供することをお知らせいたします。

住友生命保険は、一人ひとりが主体的に健康維持・増進に取り組むことができるいきいきと働き続けられる会社の実現を目指し、お客さま、職員、社会にとって「人」に「デジタル」で「ウェルビーイング」に貢献する『なくてはならない保険会社グループ』の実現をスローガンとして、健康経営を推進しています。その結果、「健康経営優良法人(大規模法人部門)」における「ホワイト500」を6年連続で取得しています。

当社はこのたび住友生命保険の「健康関連データを有効活用し、さらなる健康経営を強化していきたい」といったニーズを支援すべく、同社のストレスチェック実施対象従業員約43,000名にストレスチェックサービス「アドバンテッジ タフネス」を、また各種健康データ等を集約できるデータマネジメントプラットフォーム「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を提供いたします。

同社からは、「ストレス反応」「ストレス原因」「周囲からのサポート」といった法定のストレスチェック項目に留まらず、業務パフォーマンス指標等も測定できる点、さらにそれらのメンタル面のデータと健康診断から得られるフィジカル面のデータを掛け合わせ、その関連性について分析できることが評価されました。またサーベイ結果から見出された課題に対して必要なアクションを提示し、サーベイ「実施」後「まで見据えた一連のフローが、サーベイの価値を最大化するものとして同社のニーズに合致しました。

当社は、同社の「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を活用した施策の実施まで伴走し、さらなる健康経営の推進をサポートしてまいります。

あなたの未来を強くする


■住友生命保険相互会社 ご担当者より
(人事部 福利厚生室 上席部長代理 神田 貴之 様)
今般「アドバンテッジタフネス」および「アドバンテッジウェルビーイング DXP」を導入することにより、職員のメンタルケアの向上や管理職向けの情報光美化が図れると同時に、当社の健康経営の課題に押し接する角度から分析できる点に魅力を感じております。その分析結果から効果的な対策を検討・実施でき、職員1人ひとりが、より「ウェルビーイング」となるためのツールの一つとなることに期待しております。

1. 大手企業への当社サービス導入に関する進捗
2. **当社サービスの拡充に関する進捗**
3. 業務提携に関する進捗

アドバンテッジウェルビーイングDXP – 全体像

ストレスチェック（メンタルヘルス・生活習慣）データ

ADVANTAGE
TOUGHNESS

健康診断データ

ADVANTAGE
HEALTH CARE

勤怠データ

KING OF TIME

退職者データ

ADVANTAGE
HARMONY

パルスサーベイ

ADVANTAGE
pdCa



アドバンテッジ
ウェルビーイングDXP

管理者（人事・産保スタッフ・現場管理職）向け画面

従業員向け画面

データ活用支援

個人に対する支援



🏠 ダッシュボード

📊 データ集計/分析

👤 従業員リスト

📊 課題登録

+ 各データ詳細閲覧

各データの個人結果

改善アドバイス/動画

おすすめコンテンツ

組織へ Solution

従業員のウェルビーイング
環境を支援



カウンセリング



各種研修
eラーニング



組織コンサルティング



フィジカル関連
ソリューション



介護・育児支援

個人へ Solution

ウェルビーイングの
セルフマネジメントを支援



余暇支援



健康支援



商売支援



自己啓発



共済・リスクカバー

アドバンテッジウェルビーイングDXP – バージョンアップによる新たな機能（2種類のプランを用意）

画面	Phase3.0で変わること	エントリー	アドバンス
ホーム	<ul style="list-style-type: none"> ■ 表示追加 業種内/社内平均との結果比較（メンタルヘルス・エンゲージメント結果） 	○	○
メンタルヘルス・エンゲージメント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 該当者の内訳・前回からの推移表示 対象者リストの抽出も可能 ■ 新機能 因子ごとの結果と打ち手表示 	×	○
フィジカルヘルス	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 該当者の内訳・前回からの推移表示 対象者リストの抽出も可能 	×	○
ハラスメント	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 前回・今回結果と業種平均の比較 	○	○
分析と課題	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 「カスタムリスト」機能 任意の条件による従業員絞り込み→分析等への活用 	×	○
	<ul style="list-style-type: none"> ■ バージョンアップ 「課題登録」機能 	○	○
レポート	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 「ストレスチェックレポート」機能 業種平均の表示・比較も可能に ※業種平均の表示はアドバンスプランのみ 	△	○
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 「カスタムレポート」機能の新設 DXP内の属性×因子を自由に掛け合わせて表示 	×	○
設定	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 IPアドレス制限 	○	○
アカウント管理	<ul style="list-style-type: none"> ■ バージョンアップ CSVでの従業員アカウント一括発行 	○	○
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新機能 社用アドレスのない従業員向け・QRコードでのアカウント招待 	○	○

ADVANTEGE HARMONY – 第8回HRテクノロジー大賞「健康経営特別賞」受賞



アドバンテッジ ウェルビーイング DXPの「人的資本経営サービス部門」初代優秀賞受賞に続き、ADVANTEGE HARMONYは「健康経営特別賞」を受賞。

企業に未来基幹の元気を!



2023年8月1日

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
代表取締役社長 鳥越 慎二
(東証プライム コード 8769)

休業者管理業務支援クラウド「ADVANTEGE HARMONY」

第8回 HRテクノロジー大賞「健康経営特別賞」を受賞

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、休業者管理業務および休業者の産育休・私傷病等と仕事との両立を支援する総合プログラム「ADVANTEGE HARMONY」が、第8回 HRテクノロジー大賞において「健康経営特別賞」を受賞したことをお知らせします。

HRテクノロジー大賞においては、昨年「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」が「人的資本経営サービス部門優秀賞」を受賞しています。今年は「健康経営」の領域にて「ADVANTEGE HARMONY」が評価されました。



■「健康経営特別賞」の受賞理由

『ADVANTEGE HARMONY』は、休業者管理業務の効率化と休業者の円滑な復職の両立を実現するシステム。自動化されたスケジュール作成による業務効率化や、休業者との繋がりを守るコミュニケーションツール、復職後の両立支援など、休業者と企業双方に配慮してシステムが設計されています。休業者へのこまめな対応を可能にし、企業の健康経営に寄与する優れたサービスであると高く評価されました。

導入企業、続々増加中!

休業者管理・復職支援
クラウドシステム



休業者管理業務に残るアナログな手法から
アドバンテッジハーモニーで業務効率改善!



主な導入企業



休職中の手続き/対応～復職支援・再発防止まで、システムで包括管理。人的資本情報開示・育休法改正への対応も効率化。

企業管理ページ



貴社就業規則に基づき
休業者スケジュール
を自動計算。



TODOリストを
自動生成。
リマインド機能も。



面談記録を登録可能。
やりとりした書類も
システムに自動保管。



健康経営度調査票等、
各種書類に必要な
データを簡単集計。

休業者マイページ



チャットでやりとり。



システム上で
休業に関する申請が
できるように。



一斉お知らせや
個別案内書類も
システム内に集約。



休業中のタスクも
リマインダーで
漏らさせない。

さらに、オンラインでのリワークプログラムもオプションとして利用可能

時間・場所的制約のないリワークプログラム。認知行動療法×回復状態が分かるプログラムと職場の受入体制づくりで再発を予防。

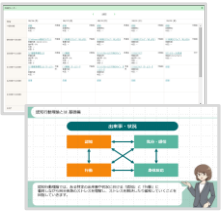
本人 3週間のオンラインリワークプログラム

精神科医監修のワークプログラム

GPSを用いた移動訓練

認知行動療法に基づくe-learning

カウンセラーによる面接



人事 回復状態の把握が容易に

リアルタイム共有の生活リズム表

回復状態のスコアリングシステム

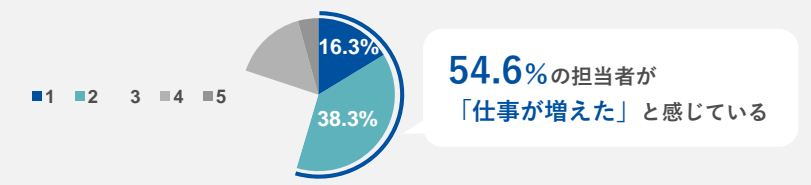


上司 受入に向けたeラーニング学習が可能に

ガンからの復職を支援するプログラム eRWPもご利用可能！

Data アンケート調査結果：メンタルヘルス不調による休職者発生を受けて… ※2022年3月実施「休業者管理意識調査」*N=618 より

メンタルヘルス不調による休職者発生を受け、「仕事が増えた」と感じますか？



メンタル不調による休職者発生を受け、会社にとってどのようなことが負担になると思いますか？

- 1 復職時の受入体制に関する検討 …41.8%
- 2 対象従業員の休職中のフォロー体制に関する検討 …37.6%
- 3 対象従業員が関わっていた業務の停滞 …36.2%

育児と仕事の両立支援サービス「Career & Baby (キャリア&ベビー)」の提供開始

育児・介護休業法の改正から約1年が経過し、増加する育休取得者の支援強化を目的として新サービスをリリース。

企業に未来基準の元気を!



2023年9月20日

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント

代表取締役社長 鳥越 慎二

(東証プライム コード 8769)

慶應義塾大学 島津明人教授監修

育児と仕事との両立支援サービス「Career & Baby (キャリア&ベビー)」の提供開始

～「育児・介護休業法」の改正から1年 増える育休取得者の支援を強化～

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、妊娠期から育休期、職場復帰後の両立期の一連の時期に渡り仕事との両立をサポートする「Career & Baby(キャリア&ベビー)」の提供を開始することをお知らせいたします。同サービスでは、ワーク・ライフ・バランススコアの可視化や、育児期に抱えがちなストレスにアプローチするeラーニングを提供します。該当従業員のワーク・ライフ・バランスの可視化にあたり、オランダで研究用に開発され、その後慶應義塾大学の島津明人教授らにより日本語版として開発された「SWING-J」を日本で初めて商用利用しています。

なお、当サービスは休業者管理業務および休業者の産育休・私傷病等と仕事との両立を支援する総合プログラム「ADVANTAGE HARMONY (アドバンテッジ ハーモニー)」のオプションとして提供いたします(単品販売も予定)。「ADVANTAGE HARMONY」システムを基盤に、妊娠期から育休期を経て職場復帰後に至るまでステージに合わせた課題に対処し、切れ目のないサポートを実現します。

新サービス「Career & Baby」リリースの背景

育児・介護休業法の改正を受けて、企業には男性の育児休業の取得促進や、従業員が仕事と家庭を両立するための本格的な支援が求められており、こうした社会の動きを受け、育児との両立を目指す従業員を対象とした「Career & Baby」を開発。

サービス概要

- 妊娠・育休・職場復帰後の両立期にわたる一連の期間に対し、仕事との両立をサポートすることを目的として、ワーク・ライフ・バランススコアの可視化や、育児期に抱えがちなストレスにアプローチするeラーニング
- 「SWING J」日本語版の開発にも関わった島津明人教授の監修を受け、「ワーク・ライフ・バランスの向上」や「ストレスケア」にアプローチするプログラムとなっている

1. 大手企業への当社サービス導入に関する進捗
2. 当社サービスの拡充に関する進捗
3. **業務提携に関する進捗**

アデコ株式会社と業務提携契約を締結

アデコ社の組織・人事コンサルティング事業を通じて、人事課題解決型プラットフォーム「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を中心とした当社サービスを幅広い顧客企業へ提供。

企業に未来基準の元気を!



2023年9月11日

株式会社 アドバンテッジリスクマネジメント

代表取締役社長 鳥越 慎二

(東証プライム コード 8769)

アデコ株式会社と業務提携契約を締結

アデコ社の組織・人事コンサルティングを通じて「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」等を提供

株式会社アドバンテッジリスクマネジメントは、人財サービスのグローバルリーダーである Adecco Group の日本法人で、総合人事・人財サービスを展開するアデコ株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:川崎 健一郎、以下「アデコ社」と)、業務提携基本契約(以下「本契約」)を締結しました。当社はこの業務提携により、アデコ社の組織・人事コンサルティング事業を通じて、人事課題解決型プラットフォーム「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を中心とした当社サービスを、幅広い顧客企業へ提供できるよう取り組みを進めてまいります。

1. 提携の狙い

本業務提携によって、双方のサービスの充実および顧客の拡大を図ると同時に、今後ますます高度化する社会課題の解決に向けて、双方の強みであるHRテックとHRコンサルティングの融合による新たな付加価値の創造を目指します。

具体的には、両社によって以下を実現させることによりサービスの付加価値向上を図り、これまで以上に効果的なソリューションの提供を目指します。当社の「DXP による分析、課題解決のためのソリューション」とアデコ社の「組織・人事コンサルティングの強み」を融合させることで、顧客企業の経営課題の解決・企業価値の向上を支援してまいります。

- ① アデコ社が人的資本経営の実現に向けた組織・人事コンサルティングを実施する際に「アドバンテッジ ウェルビーイング DXP」を活用し、顧客企業の課題の洗い出しと可視化を行う
- ② 顧客企業の課題解決のために、アデコ社のコンサルティングサービスやシェア HR(※)、当社ソリューションの複合的な提供を行ったうえで、DXPにて課題の管理・検証を行い、PDCAを回す

提携の狙い

当社の「DXPによる分析、課題解決のためのソリューション」とアデコ社の「組織・人事コンサルティングの強み」を融合させることで、顧客企業の「経営課題の解決」「企業価値向上」の支援を行う。

具体的な取組み

- アデコ社が人的資本経営の実現に向けた組織・人事コンサルティングを実施する際に「アドバンテッジウェルビーイングDXP」を活用し、顧客企業の課題の洗い出しと可視化を行う
- 顧客企業の課題解決のために、アデコ社のコンサルティングサービスやシェアHR(※)、当社ソリューションの複合的な提供を行ったうえで、DXPにて課題の管理・検証を行う(PDCAを回す)

※ 顧客企業が解決したい課題に応じた時間数・期間だけコンサルタントが稼働し、実務をベースとした支援を行うサービス

本日はありがとうございました

企業に未来基準の元気を!



IRに関するお問い合わせ

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント
経営管理本部 経営管理・IR部

TEL：03-5794-3800（代表）

お問い合わせフォーム：

https://armg.inboundtools.com/ir_form

【免責事項】

本資料に含まれる計画、見通し、戦略その他の将来に関する記述は、本資料作成日時点において当社が入手している情報および合理的であると判断している仮定に基づくものであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。

そのため実際の業績などは、経営環境の変動などにより、当該記述と著しく異なる可能性があり、正確であるという保証はありません。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の情報は、一般に公知の情報に依拠したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

その他、本資料に記載されている会社名、商品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。